

第 12 期第 9 回 小平市廃棄物減量等推進審議会

事務局からの報告事項（メモ）

1 平成 29 年 9 月議会報告

（1）一般質問（概要）

質問 佐藤 充議員

「家庭ごみの有料化について」

- ① 家庭ごみの有料化の方向性を打ち出した経緯について
- ② 実施計画策定について、現在の検討状況について
- ③ 有料化を実施している多摩 22 市の減量効果について
- ④ 有料化を実施している多摩 22 市で、手数料の値上げをした市が何市あるか
- ⑤ 市民の皆様にご理解していただく上での課題と方法について
- ⑥ 戸別収集と有料化の、今後のスケジュールについて
- ⑦ ごみの減量化を図るための、リデュース（発生抑制）の進捗状況と課題について

答弁

- ① 最終処分場の延命措置や ごみ処理施設更新に伴う施設周辺住民への配慮、費用削減のため、施設規模を小さくする必要があることから、これまで以上にごみを減量する必要性が生じてまいりました。このような状況の中、小平市廃棄物減量等推進審議会の答申を受け、平成 26 年 3 月に策定いたしました小平市一般廃棄物処理基本計画では、家庭ごみ有料化を重点施策の一つとして位置付け、平成 31 年度を目途に家庭ごみ有料化を実施する方向性を打ち出しました。さらに、課題であった全量の容器包装プラスチックの資源化が、小平・村山・大和衛生組合資源物中間処理施設建設により実現する見通しが立ったこと、また、新しい焼却施設の更新に伴う、工事期間中の他団体への ごみ処理の支援要請が不可欠となることから、あらゆる減量施策を講ずる必要があり、家庭ごみ有料化、及び 戸別収集への移行についての基本方針を本年 4 月に策定したところでございます。
- ② 小平市一般廃棄物減量等推進審議会や庁内委員会での意見などを踏まえて、実施計画素案の策定を進めております。
- ③ 有料化実施前年度と 実施翌年度を比較しますと、全ての市において 減量効果が確認されております。
また、直近 3 年の増減でございますが、21 市が減量、1 市が増量となっております。
- ④ 直近の 5 年間に於いて値上げした自治体はございません。
- ⑤ 家庭ごみ有料化は、全市民に関わることでございますので、市民一人ひとりに対して丁寧に説明する必要があると認識しております。実施計画の策定に向けては、来月から開催する 市主催の市民説明会を 12 回設定し、各地域できめ細かな説明を行うと同時に、自治会や少人数の集まりにも積極的に伺いたいと考えております。
- ⑥ スケジュールでございますが、10 月から 11 月にかけて、市報特集号の全戸配布、市民説明会、パブリックコメントなどを通じて市民の皆様には十分な周知、説明を行い、本年度末までに実施計画を策定いたします。
また、来年度は、引き続き、市民の皆様への説明を行うとともに、条例の一部改正や、戸別収集の調査を行います。さらに、有料袋の作成、分別パンフレットや 収集日のカレンダーなどの作成を予定し、平成 31 年 4 月の実施に向けて準備を進めてまいります。
- ⑦ 平成 19 年度から、小平市廃棄物減量等推進員との協働で、マイバックキャンペーンを実施しているほか、市報やごみ・リサイクル情報誌ごみらいふ、市 ホームページでの啓発や、環境フェスティバルやリサイクルきょうらばんなどのイベントを通じて 3R の推進や食品ロスの削減などについての取組を実施しております。
課題といたしましては、ごみと資源の分別の徹底や市民意識のさらなる向上、小売店等の事業者との連携の構築が課題であると考えております。

2 こだいら環境フェスティバルについて

日 時：平成29年9月9日（土）午前10時から午後2時
ふれあい下水道館のみ午後3時まで

場 所：中央公園、ふれあい下水道館

来 場 者：約6,300名（内、ふれあい下水道館2,122名）

事業内容：フリーマーケット19店参加、ステージ8団体、出店ブース55店

回収実績：陶磁食器約340kg、小型家電約34kg、未利用食品約45kg

3 その他

（1）「えんとつ フェスティバル2017（第15回）」について

日 時：平成29年10月7日（土）午前10時から午後3時

場 所：小平・村山・大和衛生組合

事業内容：

（1）清掃工場ミニツアー

（2）ステージの演奏

（3）模擬店

（4）クイズラリーなど

主 管：えんとつフェスティバル実行委員会

主 催：小平・村山・大和衛生組合のごみ処理事業に関する連絡協議会、小平・村山・大和衛生組合